若狭沖でワラサにハマチ

●福井県敦賀市・色浜出船

WINDIE（若狭GT倶楽部スタッフ）

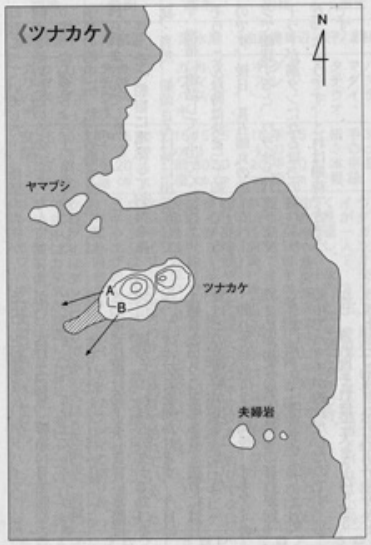
いよいよ若狭の海にも秋がやってきました。秋の旬といえば、やはり青物。日本海ではワラサ、ハマチが大人気です。

主役の青物が姿を見せず台風の通過で回遊始まる

9月27日、敦賀市の色浜より半夜便の仕立船でワラサとハマチを狙ってきました。船宿は「第二甚五郎丸」さんです。私は敦賀沖と越前沖における過去の釣況データをインターネットで調べ、9月下旬から必ずワラサ、ハマチが釣れはじめると確信し、1年前に予約をしておいたのです。

しかし、今年は例年になく残暑が厳しく、9月中旬になっても若狭の沖ではマイカが釣れていました。船頭さんに問い合わせても「青物は回遊していないよ。マイカやアジ狙いで出船しているよ～」とのこと。肝心の青物が期待できそうもありません。今回の企画は、ネットで知り合った全国の青物アングラー8名による釣行です。幹事の私としては、何とも胃の痛い状況でした…。

しかし、釣行日の1週間前に異変が起きました。そうです。台風15号の接近です。通過した後は気温もめっきり下がり、急に秋らしい陽気に様変わりしたのです。この時、ピーンと直感しました。やはり沖でも異変



アタリは散発的でしたが、本年初物のワラサを釣り上げることができました。

せて広範囲を探りましょう。

▼ワンポイントアドバイス　A、B両ポイントともに遠投で狙ってみるのがよいと思います。コマセはエサ取りがまだ多いので、私は足元に重点的に撒きます。沖の本命ポイントには1、2杯です。しかし、エサ取りの状態次第で、一度に3～5杯撒いてみたり、1杯にしたり、撒かなかったりします。

また、この時期のグレは比較的浅いタナで食ってきます。エサ取りよりグレのほうが冰くスピードが速いのを利用し、左右にコマセを打ち分けてエサ取りとグレを競争させて良型のグレを拾っています。コマセを打つリズムに変化を持たせることも、エサ取り対策になると私は考えています。

▼コマセ　コマセは遠投性と拡散性を重視しています。私は半日分として、オキアミ9kgを粗めにカットしたものに、「グレパワースペシャルグランデイス」2袋と「グレパワーV10」1袋（いずれもマルキュー）を混ぜ合わせ、海水を少量ずつ加えて練り込んだものを使っています。

サシエはマルキューの「くわせオキアミスーパーハードMサイズ」をメインに、エサ取り対策として「くわせエビMサイズ」や「くわせオキアミ半ボイルMサイズ」を使用しています。

最後に、自分のゴミはもとより、磯に落ちているゴミも持ち帰りましょう。

▼問い合わせ　若潮屋（☎0770・22・3680）

▼アクセス　北陸自動車道・敦賀ICを出て、国道8号・敦賀バイパス経由で国道27号線を小浜方面へ。三方交差点を右折して国道162号線を経由し、県道216号・常神三方線を北上して小川港へ。

は起こっていました！　待望の青物が回遊を始めたというのです。なんてラッキーなんでしょう！　1年前にした予想の的中に、私は感動を覚えずにはいられませんでした。

さっそく船宿に電話して釣況を確認。当然、船頭さんは沖に出て不在です。携帯に電話しても出てくれません。そう、こんな時は決まって釣れているのです。後日、甚五郎丸のホームページで確認すると、ワラサとハマチでクーラーが満タンになるほどの釣れぶりだったようです。これは期待できそうです。

散発的にワラサヒット　パワフルな引きを満喫

ついに釣行当日がやって来ました。集合は船宿の桟橋に午後2時、出船は午後3時、納竿は午後11時の予定です。当日は朝から北西の風が強く、海上保安部の天気情報では敦賀沖の風速は7mとのこと。一抹の不安を感じましたが、風が治まることを信じて集合場所へと向かいました。しかし、午後を過ぎても風速は4m。海上の波は1・5mほどあるようです。船も出港を見合わせていましたが、なんとか午後3時30分に釣り場へと向かいました。

今回のポイントは敦賀半島の先端、立石岬周りの浅場です。午後4時過ぎにアンカーを下ろし、タックルの準備に取りかかります。「今年のワラサは引きが強いよー。ハリス10号、幹糸12号では三又サルカンごと持っていかれるよ」と船頭さん。アドバイスにしたがい、ハリス12号、幹糸14号で臨むことにしました。エサはスルメイカの切り身。オモリは120号で統一です。さっそく仕掛けを下ろします。水深は50m。底から1mほどのタナでカゴを振ってオキアミを効かせます。今日は土曜日ということもあり、辺りには15隻ほどの遊魚船が出ていました。

釣りを始めて2時間後、オキアミの効きめが出たのか、最初の群れが回ってきました。私には来ませんでしたが、船中でハマチが釣れだしたのです。しかし、群れはそれほど大きくなく、5、6匹上がった時点でアタリが遠のきました。本日は我慢大会になりそうな雰囲気です。

そして、集魚灯に明かりが灯った午後6時過ぎ、私の竿がいきなり絞り込まれ、ついに本年初物となるワラサがヒットしました。締め込みが強烈で電動リールもパワー負けするほどでしたが、なんとか65cmをキャッチしました。時合が訪れたようで、右舷のミヨシでも竿が弓なりに曲がりました。船頭さんのテンションも上がってきたようです。しかし、ワラサも長続きはせず、私は60cmと63cmを追加したのみ。終了間際に40cmと45cmのハマチを釣り上げ、午後11時に納竿となりました。

船中の釣果は、60～65cmのワラサを15匹。35～45cmのハマチを20匹でした。1年振りに青物の引きを堪能することができました。やはりワラサの引きはパワフルの一言に尽きます。

これから秋が深まるとともに若狭の海は荒れる日が多くなってきますが、ワラサ、ハマチは皆さんを待っています。群れに当たった時の釣れぶりは凄まじく、50gクーラーが1時間で満杯になることもあります。皆さんも青物狙いに出掛ける際は、最低でも40gはある大きめのクーラーを持参してくださいね。分からないことがあっても、甚五郎丸の船長さんなら優しく教えてくれます。初心者の方や女性の方でも心配することはありません。なお、ご質問などありましたら、お気軽に私のホームページまで。

▼アドレス
http://www5a.biglobe.ne.jp/~windie/

▼アクセス　北陸自動車道・敦賀ICを出て市街地方面に向かい、国道476号線経由で県道33号・佐田竹波敦賀線を西進。気比の松原の脇を抜けて敦賀半島東岸を北上して色浜へ。

▼問い合わせ　甚五郎丸（☎0770・26・1740）

大型好気配なカセ釣り場

●三重県南勢町木谷・フィッシングセンター南志摩

大野　博之

今回は、三重県南勢町木谷のフィッシングセンター南志摩を紹介しよう。木谷は50cmオーバーが数多く釣り上げられている大型クロダイの実績場である。平成12年には64cmの超大型、今年も59・5cmが釣り上げられているので十分に期待できる。また、渡船店の壁一面には見事なクロダイの魚拓が飾られており、好釣果を夢見る出船前の釣り人の心をくすぐる。

▼釣り場の概要　木谷は五ヶ所湾の東側の湾奥にあり、磯浦（さざらうら）の対岸に位置する。入り組んだリアス式の海岸が続き、波穏やかで静かな釣り場である。そのため、悪天候で海が荒れていてもウネリの影響を受けることが少ない。他の釣り場では竿が出せない状況でも、竿が出せることが多いので、釣り人にとってはありがたい釣り場だといえる。

この釣り場には筏はなく、養殖筏に2人もしくは3人乗りのカセが20パイ設置されている。全てのカセが渡船店から見渡せる範囲に設置されており、常にご主人が注意を払って見守ってくださるので安心だ。底は平坦で、水深は浅いところで10m、深いところでは14mとなっている。

▼最近の釣況　9月に入り、小型のクロダイも交じってきたものの、まだまだ良型が揃う。また、釣り場が浅いこともあり、ハリ掛かりしたクロダイの引きは元気いっぱいである。外道はマダイ、グレ、カワハギなど、お土産に